

ALBATECH NEWS

アルバテックニュース

本当に収穫出来たのか？

営農型太陽光発電システム

「SOLAR営農」

第一号で

落花生の収穫！



2014
冬号

「SOLAE営農」全国第一号で待望の収穫



落花生の収穫風景

農地は農業以外で収益を得ることが禁じられていますが、農林水産省が昨年3月末、再生エネルギーの普及を目指して規制緩和の指針を発表しました。植物の光合成は太陽光をすべて使い切っているわけではなく、光が十分に強くなると、それ以上いくら光を当てても光合成量が増えなくなります。

この光の量を「光飽和点」と呼び、この光飽和点の分を確保し、余った光を発電に回せば、影ができてても作物の収量には影響せず、農業と売電の両立が可能になります。

これが営農型太陽光発電といわれるもので、当社の「SOLAR営農」はこの営農型太陽光発電システムを「農地の一時申請から設計・施工、売電までを一括

でパッケージ」した商品です。

「SOLAE営農」は支柱を土中のコンクリート製基礎で支え、さらに基礎同士を、土中で水平方向に配置したパイプで連結し、強度を持たせることで架台そのものに強度を持たせ、さらに建築物と同等の構造計算が出来る事で、風速40m 積雪100cmの耐久性を誇ります。

そして去る10月4日、営農型太陽光発電システム「SOLAR営農」全国第一号である千葉県山武市の農家I様の畑で待望の落花生の初収穫が行われました。

収穫には弊社からもお手伝いに伺い、一緒に収穫作業をおこないました。

ずっと中腰で行う収穫作業、農業作業は本当に大変です。弊社スタッフは後日腰痛に悩まされることに・・・。

太陽光パネル下でも大粒の落花生が！

今回は当社の営農型太陽光発電システムとして初めての収穫です。

本当に太陽光パネルの下でちゃんとした落花生が収穫出来るのかと不安もありましたが、結果は上々。

太陽光パネルの下では地上部の葉っぱの成長が今ひとつの様に見えましたが、実際に掘り起こして収穫してみると、写真の様に十分にしっかりとした千葉県産らしい大粒の落花生が収穫出来ました。



天日干・脱穀そしてやっと収量が



天日干し中の落花生

収穫した落花生は写真の様に一カ所に集めて逆さまにします。この状態で自然に乾燥させること約一ヶ月。しっかり乾燥したところでやっと、脱穀の日がやって来ました。

千葉県山武市I様「SOLAR 営農」第一号データ

作付け面積 約 750 m²
一時転用部分の実説収穫量 約 130kg

山武市の 1000m² 当たりの落花生の平均収穫量は 204kg
I様の落花生の作付け面積は、約 750 m²
従ってI様の一時転用に於ける収穫量(8割以上)は 204x 0.75x0.8=124kg

130kg以上の収穫が出来、一時転用に於ける収穫量(8割以上)はクリアしている事になります。



落花生の脱穀中

売電収入があればこそその農業

I様曰く「この畑から落花生の出荷で得られる収入は6万程度」とのこと。

反対に売電については「1kW時あたり36円で売り、年間220万円の収入が期待できる」とお話を聞きました。設営当時の1680万円の初期投資は約8年で回収できる計算です。

これまで形ばかりの野菜作りをして、後は雑草を刈るだけでごまかすような生活だったが営農型太陽光発電を設置して、売電による収入が出来たことで、金銭的に余裕を持って農業が出来た事は嬉しいことだし、なにより農地を昔からやっていた落花生畑として復活させられた意義はとて大きいですと語っていただきました。

現在、農家は「後継者不足」「不安定な収入」など大きな問題に面しています。そういった意味でも営農型太陽光発電システムの導入は、農家に「安定した収入」を生み、また農地を守り安心して農業を続けられ、地産地消の新しい未来を生み出す一つの答えだと私達は考えてます。

株式会社アルバテック
ALBA TECH アルバテックニュース

発行：株式会社アルバテック 東京本社
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 3-27-1 大洋ビル 102
TEL: 03-5823-4580 FAX03-5823-4582
HP: www.alba-tech.jp